

b-lab通信 号外



b-lab通信とは?

2015年4月にオープンした中高生向け施設「文京区青少年プラザ b-lab」の運営や、活動をお知らせするため、区内の中学校・高等学校等の教職員の皆様及び b-lab にご協力頂いている方々に向けて発信する広報誌です。



ごあいさつ

今回は「b-lab 通信号外」として、文京区と協働の探究学習プログラム「文京ワカモノ未来PROJECT」の詳細をお伝えいたします。このプログラムでは、文京区の様々な分野で活躍する人材と中高生を繋ぎ、興味のあるテーマの探究を手助け致します。今回の探究テーマは以下の3つです。中高生の探究学習の一助となれば幸いです。

文京ワカモノ未来PROJECTとは



文京区 ×



b-lab

コンセプトは、「きみだけのマイプロジェクト※を見つけよう!」。文京区を舞台に、初めてのヒト・モノ・コトに出会うことによって、湧いてくる「新たな自分の気持ち」に気づき、アクションを通して学ぶプロジェクト活動※のことです。学校の授業や課題活動で「探究活動」をしている人はもちろんのこと、「何かをやりたい」けれど、まだモヤモヤしているという中高生に参加してもらえたらと考えております。

3つの探究テーマから選べます!

「こどもたちの居場所
×NPOアフタースクール」

場所：放課後NPOアフタースクール本部

10月24日(日)13:00～
応募締切 10月17日(日)

「書くこと×児童文学作家×図書館」

場所：文京区立真砂中央図書館

11月3日(水・祝)13:00～
応募締切 10月27日(水)

「まちづくり×若手起業家」

場所：ルーラルコーヒー

11月23日(火・祝)13:00～
応募締切 11月16日(火)

theme
1

放課後 NPO アフタースクールで『放課後の居場所づくり』について、職員の方からお話を聞き、それをヒントに、自分にとって「居場所」とはどんな場所かを考えます。

ゲスト：NPO法人 NPOアフタースクール

安全で豊かな放課後を日本全国で実現するために学校施設を活用し地域と共に子どもを応援する放課後の居場所「アフタースクール」を21か所で運営、全国各地で展開を行っている。

theme
2

調べ物をするに役に立つ図書館の「レファレンスワーク」について学びます。また、現役児童文学作家から書くことについて個別にレクチャーを受けることができます。

ゲスト：ささき あり

児童文学作家、絵本作家。b-lab 非常勤職員。出版社勤務を経て、フリーランスの編集記者に。様々な雑誌やムック、単行本に関わる。「おならくらげ」(フレーベル館)で、第27回ひろすけ童話賞受賞。日本児童文芸家協会の理事。

theme
3

大学生で起業家でもある坪田さんから、起業した経緯や現在チャレンジしていることについてお話を伺いながら、一緒に自分自身がチャレンジしてみたいことについて考えます。

ゲスト：坪田 莉来

㈱ Rural frontier 代表取締役 CEO。2000年生まれ。法政大学現代福祉学部在学中。「地域の今日をデザインする。」をミッションに掲げ、「1杯のコーヒーで繋ぐ都市と地方」というコンセプトでの場作りなどの事業運営を行っている。

募集開始日:10月1日(金)

参加費:無料

対象:文京区在住・在学の中高生世代

定員:各回5名程度(先着順)

※図書館企画は10名程度

【お問い合わせ】

文京区青少年プラザ b-lab
文プロ事務局 担当 中島

03-5800-2731

文京区教育委員会
児童青少年課 青少年係

03-5803-1186